

き★ら★り

男女共同参画センター “誕生”

平成17年にバンビオ1番館6階に開設された「女性交流支援センター」が「男女共同参画推進課」と統合し、平成31年4月から「男女共同参画センター」に変わりました！

「平成」から「令和」へ、長岡京市では、すべての人が性別に関わりなく、人権を尊重され、個性と能力を発揮することができる「男女共同参画社会」の実現に向け、新たな一歩を踏み出しました。

“誰もが暮らしやすいまち”を目指し、女性の相談室と男性電話相談、各種啓発やセミナーなど、これからも間口の広いセンターとして男女共同参画の「メッセージ」を発信します！

“愛称” 募集中！

新たなセンターが「親しみやすいセンター」となるよう、愛称を募集しています。誰もが自分らしく生き生きと暮らせる男女共同参画社会をイメージしたステキな愛称を考えて下さい！

応募方法…ハガキ・ファックス・メールなどで、愛称とその意味や理由、住所、名前（ふりがな）、連絡先、年代を記入のうえ男女共同参画センターまで

応募期間… **7月10日（水）必着**

発表…8月頃に市HPで発表（予定）

たくさんのご応募お待ちしております！



◆「男女共同参画社会」ってなに？

「すべての人が性別にかかわらず、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」のことです。職場、家庭、地域生活などで一人ひとりが対等な構成員として、自らの意思によって、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、その個性と能力を十分に発揮できる社会が望まれています。男女共同参画の実現は社会全体で取り組むべき課題です。

◆SDGsって知っていますか？

2015年9月に国連サミットで採択された「SDGs」。環境を壊すことなく、現代を生きる人も幸せに暮らせるようにと決められた、世界を変えるための17の目標です。その5番目に「ジェンダー平等」が掲げられています。



夫は外で働き、

妻は家庭を守るべきである

(右表 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」H28年9月)

性別で見ると、「賛成」とする者の割合は男性で、「反対」とする者の割合は女性で、それぞれ高くなっています。

年齢別に見ると、「賛成」とする者の割合は70歳以上で、「反対」とする者の割合は30歳代、50歳代で高くなっています。

長期的にみれば男女とも反対する者の割合は増加傾向にあります。

男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するためには、夫婦や家族間のコミュニケーションをはかることや職場における上司や周囲の理解をすすめること、などがあげられます。

働く女性

15歳以上のすべての女性のうち、働く人の割合が2018年平均で51.3%となり、1968年以来50年ぶりに5割を超えました。結婚や出産を経験する人が多い30~40代の労働力率がその前後より落ち込む「M字カーブ」も改善傾向。国や企業の育児・介護との両立支援が充実し、女性の背中を後押ししているものの圧倒的に非正規雇用の増加分が大きいのが現状です。

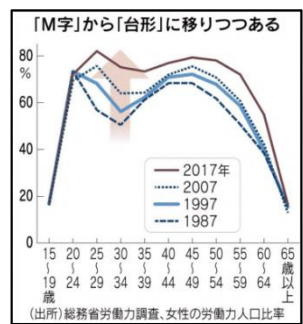
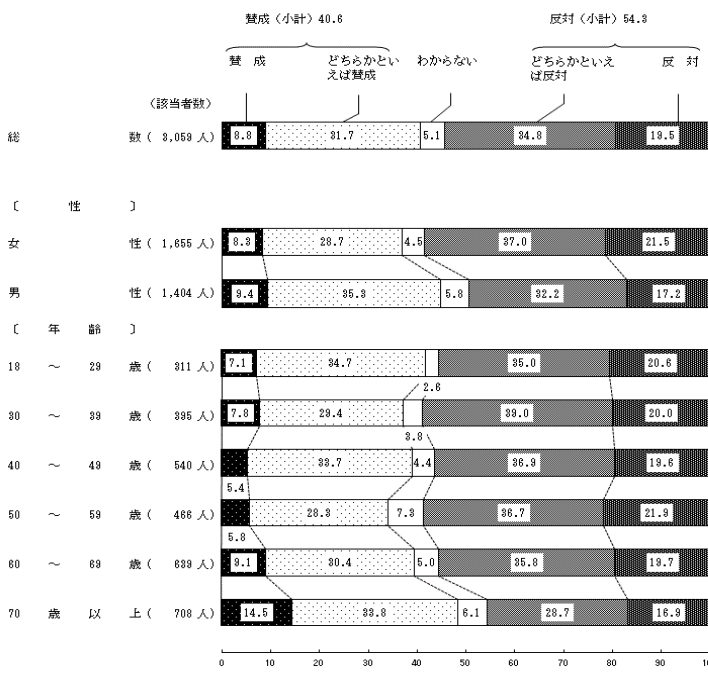
男性の家事・育児の実施状況

1-3-8図 6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（1日当たり、国際比較）



(備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成28年), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey"(2016) 及びEurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。
2. 日本の値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体平均)。

図13 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識



2016年の調査では、日本の6才未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連に費やす時間(1日当たり)は83分であり、ほかの先進国と比較して低水準にとどまっています。「2020年までに150分」という目標とはまだ乖離があります。仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)には、柔軟な働き方を通じて、職業生活や家庭生活の満足度を高められるようにすることが求められます。



6月23日～29日は男女共同参画週間



6/27（木） 男女共同参画週間事業

新時代の男女共同参画

～多様な生き方ができる社会の実現に向けて～

基調講演 13:30～14:30

少子高齢化・生産年齢人口の減少に直面する今、男女共同参画がなぜ必要なのでしょう？

女性を取り巻く現状や課題から、性別にかかわらず、一人ひとりが多様な生き方を選択し、自己実現ができる社会についてお話いただきます。



講師 川口 章さん

対話のわ 14:40～15:20

誰もが暮らしやすい、長岡京市の「男女共同参画のまちづくり」について一緒に考えてみませんか？

[場所] バンビオ1番館6階 創作室1
[申込み] 5/20(月)より（託児あり）



令和元年度

男女共同参画キャッチフレーズ決定 !!

男女共同参「学」

知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる

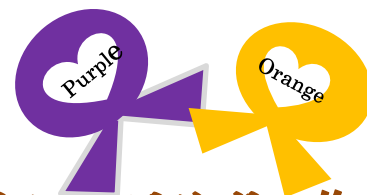
内閣府は「学び」を通じて、男性も女性も、ひとりひとりが、多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現に向けたキャッチフレーズを募集し、応募総数1,900点の中から、審査の結果、2作品が選ばれました。



家庭・職場・学校・地域など日々の暮らしの中で、あなたが体験した・感じた・考えた、男女共同参画に関する疑問や気づきを五七五の川柳にしてお寄せください。

募集期間：6月3日（月）～7月31日（水）

作品募集



パープル＆オレンジリボン作品

女性に対する暴力根絶と児童虐待防止のシンボルであるパープルリボンとオレンジリボン。パープル＆オレンジのダブルリボンをモチーフにしたオリジナル作品を募集します！

絵画、造形などのアート作品や、手芸、アクセサリーなどのハンドメイド作品で、女性や子どもが暴力によって傷つくことのない社会を目指し、あなたのオリジナル作品でメッセージを発信してください！

募集期間：6月3日（月）～10月31日（木）

男女共同参画
川柳

応募方法などの詳細はチラシ・HPをチェックしてください。

※応募作品は人権関連イベントでの展示などに活用します。



事業報告

MAY to JUNE

5/17・5/24(金) 母娘関係を考える

講師：加藤伊都子さん

母娘関係において母から受けたメッセージには女の子は女の子らしくといった女性に対する社会的役割や期待があること。その影響から抜け出し私らしく生きるためにできることを学びました。

最期に「自分が自分の最上のパートナーになろう」と前向きなメッセージを頂きました。



6/12(水)

長岡第四中学校LGBT出前授業

長岡第四中学校3年生を対象に「多様な性について知ろう」をテーマに、性のありかたは人それぞれであること、性のありかたを理由に差別や嫌がらせをしない・受けない社会になるように、これからみんなで考えていきましょう、と啓発授業を行いました。

3/4(月)長岡中学校・3/18(月)長岡第二中学校でも実施しました。

講座のお知らせ

JULY

7/19(金)

女性のためのがん治療と生活支援



がんになっても主体的な生活を送ることができるよう、女性のがん治療と生活支援の両面からサポートのあり方を考えます。



[時間] 10時半～12時半 [場所] バンピオ1番館6階 会議室3
[申込み] 6/17(月)より(託児あり)
[講師] 越智幾世さん(京都府立医科大学大学院保健学研究科講師)



7/27(土)

～オンリーワンで輝くために～

「素敵な起業のはじめかた」

自分だけのオリジナルにこだわり「本当に必要なこと」を伝え、起業をサポートしてこられたご自身の人生の歩み・・・起業&継続できる運営について最新のトレンドを交え、お話しいただきます。あなたの夢に向かって「一歩前へ」を応援します！

[時間] 13時半～15時半 [場所] バンピオ1番館4階 会議室1
[申込み] 6/24(月)より(託児あり)
[講師] 白石まゆみさん(ログマリア カフェ&ラテアートスクール主宰)



講座に参加ご希望の方は、男女共同参画センターまで電話・FAX・メールなどでお申込みください。詳細はチラシ・HPをCheck!

男女共同参画センターの相談

女性の相談室 予約・問合せ番号

075-963-5502

(月～土午前9時～午後5時)

DV相談専用番号

075

874-7867

(月～金午前9時～午後5時)

電話相談専用番号

075

963-5522

(月～金午前9時～午後5時)

男性電話相談

075

963-5522

(毎月第4金午後7時～午後9時)

◇編集・発行◇

長岡京市男女共同参画センター

〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501

FAX 075-963-5521

E-mail: danjo-c@city.nagaokakyo.lg.jp

◇利用のご案内◇

☆開館時間

月曜日から土曜日

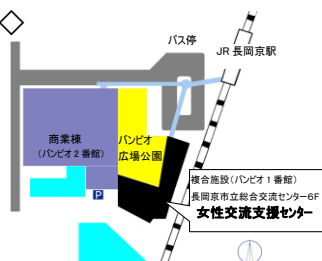
午前9時から午後5時

☆休館日

日・祝日及び年末年始

☆アクセス

JR京都線長岡京駅西口から徒歩1分





男女の候補者をできる限り均等にするよう政党に促す「政治分野の男女共同参画推進法」が2018年5月に施行されました。

施行後初めて迎える大型の統一地方選挙が2019年4月7日に実施されました。京都府議選（定数60）は女性候補18人中13人が、京都市議選（同67）では24人中15人がそれぞれ当選しました。ともに女性比率が2割を超え、府議会は今回選挙があった41都道府県議会の中で最も高くなりました。

同法では男女の候補者数を「できるかぎり均等」にするよう求めています。増加しているとはいえ、ほど遠いのが現状です。全国で女性議員がいない、いわゆる「女性ゼロ議会」もあります。

内閣府が2017年、全国の女性地方議員を対象に行ったアンケート（複数回答）の結果によると、女性議員が少ない原因として「家庭生活との両立が難しい」を選んだ人が8割と最も多く、「政治は男性が行うもの」という固定的な考え方が強い」も6割近くありました。女性議員の妊娠中や出産前後などの議会活動をどう支えるかも大きな課題となっていて、女性が政治に参加しやすい社会の雰囲気づくりや議会運営面の改善が求められています。

これからの社会は少子高齢化によるさまざまな問題に直面し、右肩上がりの経済成長も望めません。介護や子育てなど身近な問題はこれまで女性が中心に担ってきました。これらの問題に取り組み、難局を乗り切るためには女性の経験、視点が欠かせません。男女均等の50%を達成するのはいつになるのでしょうか。

スポーツにおける女性の活躍と男女の健康支援

56年ぶりにわが国で開催される2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に注目が集まっています。これを機に、国際オリンピック委員会（IOC）「オリンピック憲章」にも明記されている「スポーツにおける女性の地位向上」等の基本原則が、2020年東京大会（遺産）として社会に浸透していくことが期待されます。

また、アスリートだけでなく、一般の男女にとっても自らが希望する形で働き、家庭生活を送る上で、健康がその基盤となることは言うまでもありません。人々が直面する健康上の課題はライフステージごとに異なっており、特に女性の場合、女性ホルモンの急激な変化などによって、生涯を通じ、男性にはない心身の変化を経験します。また、女性の社会参画が進み、健康の課題も変化しましたが、女性の健康への理解や支援体制は必ずしも十分とはいえません。男女ともに健康について正しい知識を持ち、生涯を見通したきめ細かな支援を行うことは、人生100年時代において、充実した人生を全うするために不可欠であるのみならず、多様な個人が能力を発揮できる一億総活躍社会に向けた投資といえます。

毎年4月は、AV出演強要問題・

「JKビジネス」問題など被害防止月間

想像以上に
危険！

アダルトビデオ出演強要問題

モデルやアイドルにならないかとスカウトされてプロダクション等と契約し、後から契約時に聞いていない・同意していない性的な行為等の撮影を要求される問題です。

JKビジネス

#散歩

お散歩、デートなど、客と同伴する店や2人きりになる場所へ連れて行かれ、性的な要求をされることもあります。

#リフレ

マッサージなど客に接触したり接触させる店。条件にないサービスをさせられることもあります。

#コミュ

占いやゲーム、会話をする店。おしゃべりだけで稼げる甘い話はありません。

#撮影・見学・作業所

下半身や胸を強調するポーズを撮られSNSでばらまかれる危険もあります。

#ガールズバー

水着や下着など肌の露出が著しく大きい服で接客する飲食店に紹介されることもあります。

